資料提供

２０２５年７月１日（火）
照会先：保健医療部生活衛生課
担当者：小松由美（技佐兼課長補佐）
連絡先：029-301-3418（内線：3412）

本県における犬猫の重症熱性血小板減少症候群（ＳＦＴＳ）の発生に伴う注意喚起について

本県では、今年３月から県内における犬猫の重症熱性血小板減少症候群（以下、「ＳＦＴＳ」）ウイルスの感染状況を把握するため、（公社）茨城県獣医師会と協力して調査を実施しております。

これまでに、動物病院からＳＦＴＳを疑う犬猫１４頭（犬４頭、猫１０頭）の検査依頼を受け、県衛生研究所において検査をしたところ、下記のとおり犬１頭、猫１頭から陽性が確認されました（６月２７日時点）。

ＳＦＴＳは、マダニから犬猫、感染した犬猫から人への感染も確認されていますので、別紙により、ペットがマダニに刺されないため、そして ペットから人に感染しないための対策を行ってください。

記

症例の概要

	事例１	事例２
動物種	猫（１才、メス）	犬（３才、オス）
飼育環境	屋内飼養 一時的な脱走あり	屋内飼養 散歩で一時的な外出あり
マダニの付着	あり	なし
経過	４月下旬　屋外へ一時的に脱走後、耳にダニの付着を確認。動物病院を受診し、ダニを除去 ５月９日　高熱、食欲低下、嘔吐で再受診 ５月 12 日　SFTS を疑った獣医師が県に連絡、同日猫は死亡 ５月 15 日　陽性判明	６月 10 日　発症（元気消失、食欲低下、鼻水、咳） ６月 12 日～　動物病院を受診し、治療を継続 ６月 16 日　SFTS を疑った獣医師が県に連絡 ６月 17 日　犬の元気・食欲回復 ６月 19 日　陽性判明
備考	飼い主、獣医療関係者の体調不良なし	

※飼い主のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いします。

別紙

本県における犬猫の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生について

県民の皆様へ

県内にSFTSウイルスを保有するマダニが生息している可能性があることから、マダニが多く生息する草むらや藪などに入る際には、マダニに刺されないよう、長袖・長ズボン等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。

また、ペットから人に感染することが確認されていることから、以下の点に注意してください。

ペットがマダニに刺されないために

・**屋内飼育**を基本とするが、屋外活動を行うことも前提に以下を行う

＊**マダニ駆虫薬の定期的な投与**

＊散歩等で屋外からの帰宅時に体や耳などに**マダニが付着していないかを確認**

＊マダニの付着が確認された場合は適切に駆除する　※取れない場合は動物病院を受診

ペットから感染しないために

・**ペットとの過剰な触れ合いは控える**（例　口移しでエサを与える、食器を共有する等）

・ペットと触れ合った後は**十分な手洗いを行う**

ペットが体調不良になったら

・**速やかに動物病院を受診する（咬まれないように注意）**

・**人にも感染することを念頭に対応する**（唾液や排泄物等にウイルスあり）

・排泄物等を触る際は、**使い捨て手袋やマスク、ゴーグルを着用、手洗い・消毒の徹底**

・ペットのトイレやケージの消毒（70%エタノールや0.5%次亜塩素酸ナトリウム）

・同居動物がいる場合は、動物同士が接触しない工夫をする

ペットがSFTSと診断されたら

・上記【ペットが体調不良になったら】を徹底し、より慎重に対応する

・**回復した後もウイルスが排出**されるため、１週間程度はペットを隔離する

・**飼い主が体調不良の際には早期受診**（ペットがSFTSと診断されたこと等を医師に伝達）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは・・・

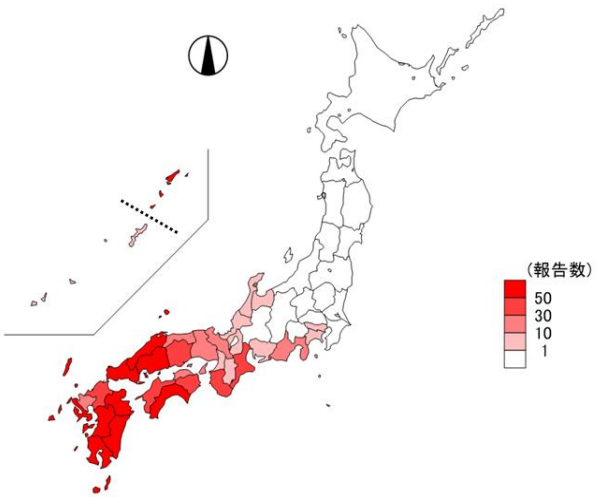
【概要】
・主にウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するダニ媒介感染症。
・人と動物の共通感染症であり、国内では西日本を中心に人及び動物（犬猫）の感染症例が報告されている。
・茨城県内での犬猫の発生の確認は初めてであり、人の感染は確認されていない。

【主な症状】
・人の場合：６日～2週間程度の潜伏期間を経て、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢）を主な症状とし、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う。
・犬猫の場合：発熱、消化器症状（食欲不振、嘔吐、下痢等）、黄疸、元気消失　等

【感染経路】
主にSFTSウイルス保有マダニの刺咬。 SFTSを発症している動物⇒ヒト、ヒト⇒ヒトによる感染もある。

【治療】
対症療法

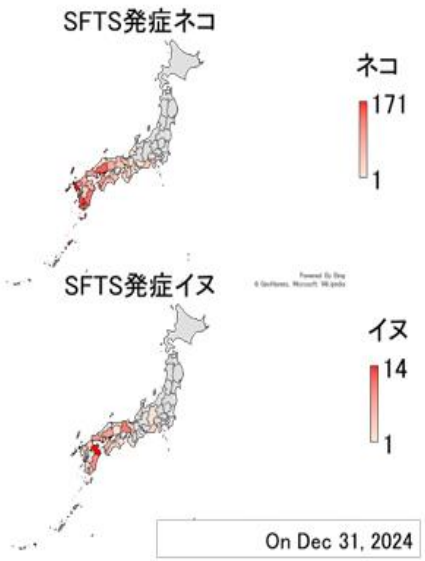
SFTS届出症例の**届出地域**（n=1071、2025年4月30日現在）（ヒト）



届出都道府県	報告数
東京都	2
神奈川県	1
富山県	1
石川県	2
福井県	3
静岡県	18
愛知県	5
三重県	30
滋賀県	1
京都府	14
大阪府	8
兵庫県	15
奈良県	1
和歌山県	39
鳥取県	10
島根県	58
岡山県	32
広島県	93
山口県	87
徳島県	42
香川県	28
愛媛県	48
高知県	82
福岡県	32
佐賀県	22
長崎県	87
熊本県	51
大分県	58
宮崎県	118
鹿児島県	82
沖縄県	1

ネコ及びイヌにおける県別のSFTS発生状況

	ネコ	イヌ
長野	0	1
石川	1	1
福井	1	0
静岡	25	2
三重	9	0
愛知	1	0
滋賀	5	1
京都	21	1
大阪	2	0
兵庫	27	7
奈良	1	0
和歌山	14	1
岡山	42	1
広島	100	5
鳥取	2	2
島根	7	0
山口	56	5
徳島	28	1
香川	9	0
愛媛	61	4
高知	31	2
福岡	34	2
佐賀	61	2
長崎	171	1
熊本	16	0
大分	38	14
宮崎	86	6
鹿児島	127	2
不明	1	0
合計	977	61



出典　国立感染症研究所ホームページ
https://www.niid.jihs.go.jp/content2/research_department/vet/animal-borne-2_2025-06-10.pdf